

米子市における新しい社会教育の試み

米子市教育委員会事務局学校教育課・生涯学習課
米子市社会教育委員

1 これからの社会教育講座

米子市は、豊かな人間性と文化が育まれた「ふるさと」で、世代を超えて互いにつながり「学びあい」、誰もが楽しさを感じながら、新たな価値観を創造し「未来」を切り拓く教育を目指しています。これからますます多様化・複雑化する社会的課題と急速な社会変化の両方に対応するために、幅広い年代の市民が学びあう場となる社会教育講座を目指します。

2 市民講座米子人生大学での社会教育委員のかかわり

本年度は、市民講座米子人生大学として、「コロナ禍における人づくり」のテーマで開催しています。テーマのねらいを市民にわかりやすく伝える工夫として、講演の後に社会教育委員のファシリテートにより、受講者から講師への質問や感想・意見を交わし、ひとりひとりの学びから、学びあう場づくりを試みています。

3 地域と学校の協働

令和4年1月にコミュニティ・スクールがはじまりました。多様化・複雑化する学校の課題を学校・家庭・地域と一緒に学びあいます。地域学校協働活動は地域のみinnで子どもを育てる取り組みです。

これからの社会教育講座

幅広い年代の市民が学びあう場となる社会教育講座を目指します。

YouTube米子市公式チャンネルで講座の様子を配信していますので、ご興味がある方はぜひご視聴ください。(米子市ホームページから抜粋)



と き：令和4年10月8日(土)13:30~15:00

と ころ：米子市文化ホール イベントホール

講 師：(株)スペースシフト代表取締役CEO

金本 成生氏 (米子市出身)

参加費
無料
定員100人
事前申込

1975年米子市に生まれ、松江小・中学校で学ぶ。少年時代に米子市淀江町の霊巖山天文台で星空観察に没頭し培われた宇宙への興味、地域の祭りなどを通じ多様な人との関わりを学ぶ。

現在、人工衛星のデータをAIにより処理することで、多くの情報を活用し国内外の様々な分野での問題解決に携わっておられます。

本講座では、全国で注目を集める衛星データを米子市特産の白ねぎの生産に活用するユニークな取組や事業を始められた経緯についてうかがいます。

＜受講のお申し込み＞

2次元コードから又は申込票により10月3日(月)までにお申し込みください。

※講師への質問がある方は、2次元コードの申込事項に又は申込票にご記入ください。

※Zoomで受講を希望される方は、2次元コードの申込事項に又は申込票にご記入ください。

※要約筆記等が必要な方は、受講を申し込む際にご連絡ください。

※講師の都合や新型コロナウイルス感染拡大状況等により、オンライン開催または中止する場合があります。

※マスク着用にご来場ください。また、会場入口での検温、手指の消毒にご協力ください。

＜問い合わせ・申込み先＞

米子市教育委員会事務局 生涯学習課 2次元コードから

〒683-8686 米子市加茂町1丁目1番地 米子市役所本庁4階 申込みください

申込みによる申込み先

電話0859-23-5442 ファックス 0859-23-5568

Email: shogaku@city.yonago.lg.jp



市民講座 米子人生大学 日程

※ 講師、夜間、日時は変更になる場合があります。
 ※ 講師の都合や新型コロナウイルスの感染状況等により、オンライン開催または中止となる場合があります。
 ※ 第3回講座の日時は、9月26日(月)14:00から10月8日(土)13:30に変更します。

開催日時 会場	テーマ(内容)	講 師
7月2日(土) 10:00~11:30 開場9:30 文化ホール	開 講 式(午前10時から) 子どもの成長と地域の大人 ~地域と学校の協働~	米子市教育長 浦林 実 鳥取大学教育学研究科講師 (米子市社会教育委員) 大野 公寛氏
8月7日(日) 10:00~11:30 開場9:30 児童文化センター	夢中になる遊び体験! ~紙コップを使って楽しく遊ぼう~	社会教育委員他
※10月8日(土) 13:30~15:00 文化ホール 9月26日(月) 14:00を要	宇宙と農業 ~星空の街から世界へ~	株式会社スペースシフト代表取締役 CEO 金本 成生氏 (米子市淀江町出身)
10月29日(土) 10:00~11:30 開場9:30 文化ホール	(仮) コロナ禍の子ども	鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科教授 前塚 義弘氏
11月7日(月) 14:00~15:30 開場13:30 文化ホール	(仮) フレイル予防と社会参加	健康対策課職員
11月26日(土) 10:00~11:30 開場9:30 文化ホール	市長特別講演 閉 講 式(午前11時30分から)	米子市長 伊木 隆司氏 米子市教育長 浦林 実

市民講座米子人生大学第1回講座を開催しました

市民講座米子人生大学第1回講座を開催しました。
 第1回講座では、米子市も推進しているコミュニティ・スクールについて、わかりやすく講演いただいております。
 講座の様子をYouTube配信していますので、ご興味がある方はぜひご視聴ください。

講演内容

開催日程 令和4年7月2日(土曜日) 午前10時から11時30分まで
 講師 大野 公寛 氏 (鳥取大学教育学研究科講師、米子市社会教育委員)
 演題 「子どもの成長と地域の大人 ~地域と学校の協働~」

YouTube配信について

[リンク先](#)…「子供の成長と地域の大人」(市民講座米子人生大学第1回講座) (YouTube米子市公式チャンネル)

配信期間 令和4年7月29日(金曜日)から令和4年10月31日(月曜日)まで

掲載日: 2022年7月29日

お問い合わせ先 生涯学習課

所在地/〒683-8686 鳥取県米子市加茂町1丁目1番地 (市役所本庁4階)

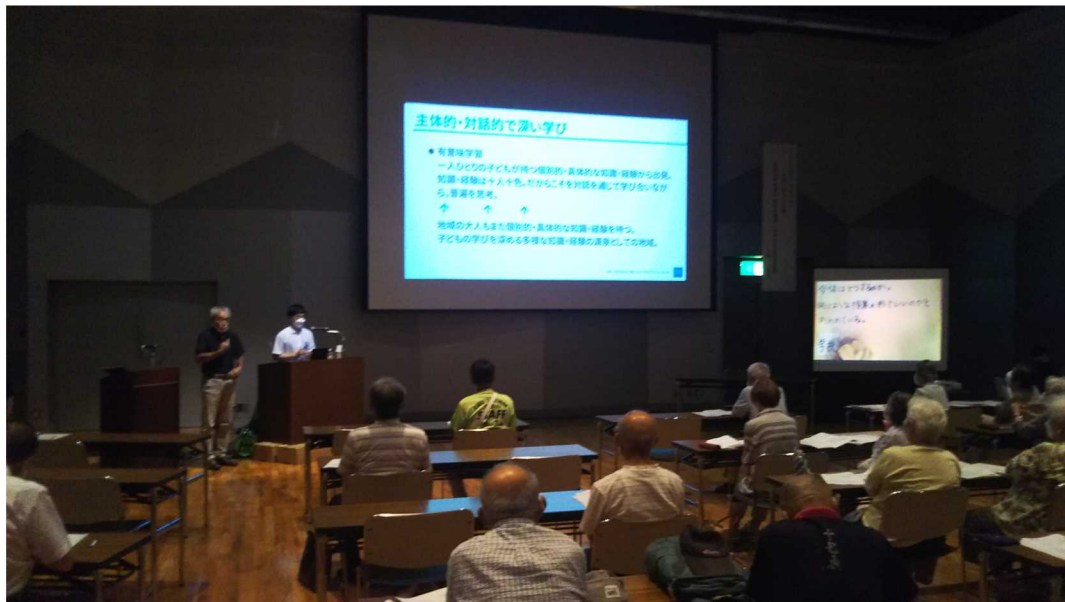
電話/0859-23-5442 ファクシミリ/0859-23-5568 Eメール/shogaku@city.yonago.lg.jp

●ページの先頭へ戻る

市民講座米子人生大学での社会教育委員のかかわり

本年度は、幅広い年代の市民が集いまなぶ、市民講座米子人生大学を開催しています。

社会教育委員の豊かな経験を活かした特色ある講座を企画しました。学習のねらいを市民にわかりやすく伝える工夫として、社会教育委員のファシリテートにより、受講者からの質問や意見を交わし、ひとりひとりの学びから、学びあう場づくりを試みています。



地域と学校の協働

米子市版

コミュニティ・スクールで 地域とともにある学校づくり

学校と家庭、そして地域が連携して学校づくりを進めていく取り組みであるコミュニティ・スクール。米子市では今年から淀江中学校区と尚徳中学校区にコミュニティ・スクールを導入し、市内全域に取り組みを広げていきます。今回は、導入した学校の取り組みを、地域と学校をつなぐ要である各学校の推進員の方をご紹介します！
 鷹生進学習課（☎23-5442）、学校教育課（☎23-5431）



淀江中学校

2年生校外学習で地域や保護者の方々の協力を得て、淀江町一周名水巡りロング・ウォークを実施しました。天の真名井などをチェックポイントとして、総距離約20kmを各組で巡りました。お互いに声をかけ合い、励まし合い、中には仲間間の荷物を持って歩く姿も見られ、本当に頼もしく素敵な光景でした。また、出会う地域の人たちへ、気持ちの良いあいさつをする姿が見られ、「素敵な中学生ですね」という言葉をいただきました。淀江の雄大な自然に触れ、充実感でいっぱいの子供たちの表情が印象的でした。



淀江小学校

淀江中学校区では、令和4年1月から地域学校協働活動推進員を2名配置してコミュニティ・スクールが始まりました。6月には開校150周年記念事業の一環として、SC典拠の指導のもと、全校児童とPTA役員が参加して校庭の芝生化事業を実施しました。3年生の総合的な学習では、ゲストティーチャーを招き、淀江の良さを再認識する取り組みをしました。このほかにも、従来から行っている学校支援の取り組みとして5年生の田植え体験なども実施しています。



尚徳中学校

本校では、総合的な学習の時間を中心に取り組みを進めています。1年生では、地区の方に協力していただき、スタンダラリーを実施しました。校区には歴史ある場所や素敵な場所がたくさんあることがわかりました。2年生は「未来に誇れる尚徳」をテーマに、校区のよさや課題を発見し、課題解決のためのアイデアや、さらなる地域活性化をめざした提案を行いました。校区の公民館長にお越しいただき、提案に対するの改善策などさまざまな助言をいただきました。



広報よなご10月号より抜粋

コミュニティ・スクールとは？

学校と地域、家庭がパートナーとして連携し、これからの学校のこと、子どものこと、地域のことを考え、地域とともにある学校づくりを進めていく仕組みです。コミュニティ・スクールを導入した学校には「学校運営協議会」が設置されます。そこで、学校・家庭・地域が一層になって知恵を出し合い、力を結集して「地域の宝」の子どもたちを育てていきます。そうすることで子どもたちの未来だけでなく、地域の未来につながるよう、取り組みを進めていきます。令和5年には東山中学校区と弓ヶ浜中学校区に導入予定です。



◀尚徳小学校
(縦横指導)

▶成実小学校
(車列り作業)

◀淀江中学校
(校外学習)

コミュニティ・スクール推進員レポート

尚徳小学校

本校は従前より地域との連携が強く、今までの行事などを継続して行っています。今年になってから新たに、家庭科の裁縫指導にボランティアの方に来ていただくようになりました。少人数で教えていただくことで、児童たちも喜んで熱心に取り組むことができました。指導に来られた方も手ごたえを感じておられたようです。



五千石小学校

本校は、以前から地域との関わりが深く、コミュニティ・スクールになってからもたくさんの方々に支えられています。遠足の見守りやさつま芋の苗植え、田植えのほかに、1学期にはあいさつ運動や花壇の手入れ、絵本の読み聞かせ、町探検の付き添い、調理実習の手伝いを実施し、児童たちと一緒に取り組みました。



成実小学校

本校では、米・大豆・いも・シタタケ作り、読み聞かせなどたくさんの方々のボランティアのおかげで、お世話になっています。加えて、例年PTAで実施する車列りの作業には、地域の方が7人来ていただきました。学校に隣接する広い山の斜面などがきれいになり、作業後は大人も子どもたちも達成感を得ることができました。今後も、子どもたちのために、学校と地域と保護者が力を合わせていきたいと思います。

